

由証載之有之、有拾口文引更
 主候次方之受所懇請之類
 御事方一應供資候旨
 法取納之旨此其以有之類
 大正四年正月十九日
 伯爵柳澤保惠
 敬具

席

冬車

所府縣長官田澤海蔵

受取今指定之申使小方替証書之類
 上届出方有之申上其之保費方有之申其保費
 署之保費行方トシテ同証書有効期日即チ今日

乙

大正四年正月十九日

田澤海蔵

再田



内ニ同仁者ニ依リ現金ニ交換シ現金ヲ持得ル
トシ保券ヲ受テ相商所ニ持テ市中若シ有
期ヲ経過シ現金ニ交換スルハ亦候方格想知
糸ニ依リ再正金ニ命リテホタル上現金
換金金額ヲ再度正金請求ニ因テ現金
ヲ控除シタル額ヲ持得ル所ニ至リ同
市中若シ保券ハ子息の通帳
年月日
身保長

頁

追テ不文現金ヲ持得ル所ニ至リ同
市中若シ保券ハ子息の通帳
年月日
身保長

青林野年々四石

明治四十五年六月三日付
身保長
年月日
身保長

市侯贈金長六通帳

本年八月廿日付身保長三石了内リ

本件ハ一覽照以開一併本
又要ヲ載記日月及跡書記

貯第四九七號

大正元 年十月十二日

郵便貯金局長下村 宏



内務省警保局長古賀康造殿

回答

受取人指定書小為替証書拾得
取扱三開二件

封教書青第三四号

右御来旨一次第毛有之候得共小為替証
書拾得者ニ対シテハ再度証書請求ニ應
答義御了知相成度從テ如斯無效

受取人指定書小為替証書拾得
取扱三開二件
封教書青第三四号
右御来旨一次第毛有之候得共小為替証
書拾得者ニ対シテハ再度証書請求ニ應
答義御了知相成度從テ如斯無效

是得者

157

共第五號(洋界紙甲)

明治四十四年八月

八卷之集

王保長
王保長

賀野堂題名
卷中

甲子年寅月卯日青林孫氏奉子昭有
 乙丑年寅月卯日青林孫氏奉子昭有
 貴人の子ありて長子孫氏の子あり
 昭有

年月日

真得真名

頁

内務省

第

年

月

日

受判

月

日

文書課長

行施

月

日

明治

五年

六月五日

主査

青森縣

大臣

次官

青森縣



青森縣

奉月十五日
お増様
局
再度
証
書
文
付
り
先
や
不
同
初
期

乙



17-7-72

明治四十五年三月十二日

青森縣知事武田千代三郎

內務省警保局長法學博士古賀廉造殿

受取人指定主郵便為替券拾得取扱関件

受取人指定ニ郵便爲替ヲ合得シ之旨
察官署ニ届出テ民法第二百四條ノ期
間ヲ経過シタル者有之候處右ノ爲替券
上ノ權利ハ郵便爲替法上特種ノ性質モ
有之民法第二百四條ニ依リ移轉シ難キ者
ト被考候ニ付テハ右ノ期間経過後ニ於テ之ヲ

拾得者ニ交付スルトキハ拾得者ニ於テ無記名債
券ト同標ニ其ノ權利ヲ行使スルノ虞モ有之候
條右ノ爲替券ハ民法第二百四條ノ期間
ヲ経過シタルトキハ之ヲ拾得者ニ交付セスルニ破
毀スルカ若クハ最寄郵便局ニ引継クヲ便利
ト被認候得共一應御意見見果知致度此
段及照會候也

庫

大正元年十月

具書

郵便貯蓄局長 照会

皮取ノ指定主ノお替証書拾得ノ様ニ
因シテ同主ノお替証書拾得ノ様ニ
証書ノ請求ニ係ルニ見ル所ニ於テ前
拾得主ハ再度証書ニ係ルニ所ナク
シテ元証書ニ係リテ再請求スル所ナ
ク

有夢此乃夢年必以肝再應也

年

真傳

我乃五三〇子

大正四年七月八

午為知事佐柳屋左

日福有於保局長安河田麻吉殿

為墨人進者並死之何

有月台付新秘合芳王五子以照會
市縣表都細水缺君懲戒、買不、為
墨人進者及死之事實、如、有
之、也
一、知、以、水、床、正、表、新、於、二、年、新